

2022年度グローバル・スタディーズ研究科研究助成金 報告書

課題名：在日中国人の食文化とエスニックフード・ビジネスネットワークの分析からー

グローバル・スタディーズ研究科

国際関係論専攻博士後期課程

HU JIAYUAN

1.はじめに

この度、上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科による「2022年度グローバル・スタディーズ研究科研究助成金」をいただき、「在日中国人の食文化とエスニックフード・ビジネスネットワークの分析からー」をテーマとする研究を実施した。

2.研究概要

①研究の背景

現在、日本では少子高齢化とそれに起因する労働力不足と日本企業の海外事業展開から、外国人材の活用が重要な課題となっている。将来、彼らは日本経済の発展を支える高度人材の資源となり得ることから、外国人材に関する諸問題は今後の日本において避けることはできないと考えられている。1978年、中国の改革開放政策以降、「出国熱」により大陸から大量の移民が世界各地に流出し、日本に来る中国人の数も急激に増加した。

また、中国人の間で食事を大切にする意識が広がり、彼らの食生活を満たすために、日本で多くの中華料理店や中華物産店が展開するようになった。華人社会や華人の生活様式の研究において、食文化がきわめて重要な意義を持つことが指摘されている（山下1998：121）。移民はホスト社会での生活において、新たな食文化を伝統的な食文化にとりこみ、「故郷の味」を再現する際に、受入国で買えない母国の食材を購入するため、コミ

コミュニティ内で料理店や物産店というエスニックフード・ビジネスを展開する。

そして、改革開放以来、在日中国人が持っている社会的背景と日本での生活は以前と比べると大きく異なり、彼らのネットワークも伝統的なエスニック・ネットワークから個人を中心とするネットワークに変化し、特に SNS 上積極的に展開しているエスニック・ビジネスによって新たな社会的ネットワークが構築されていることが明らかになった。本研究に基づき、多様化する在日中国人をめぐり、SNS で中国食材を販売するエスニックフード・ビジネスを中心に、構築されたネットワークを注目する。それによって、日本における中国人ニューカマーの複雑な現状とそれに伴う食品消費の多様化を詳細に検討し、社会的ネットワーク分析の視点に基づいて、SNS で展開する新しい在日中国人のエスニックフード・ビジネスのパターンと社会的ネットワーク、及びその社会文化的意義を分析することができると思う。

②研究目的

本研究では在日中国人ニューカマーについて、想像共同体の境界線とする食品消費の多様性に注目し、SNS 上のエスニックフード・ビジネスとそれを中心に構築されたネットワークの実態解明を通して、かれらの生き方を反映し、ホスト社会の生存戦略の発展と変容を浮かび上がらせることを目的とする。そのために本研究で研究対象とするのは、在日中国人消費者に向けて、自身の属する民族・文化の商品を提供するエスニックフード・ビジネスである。物流と通信技術の進展は、移動と非対面の接触がより自由になるため、トランスナショナルな個人中心の人間関係と社会関係が強化される。SNS 上のエスニックフード・ビジネスの解明によって、超空間的に散在するネットワークと在日中国人自体や食消費の変容を捉える。

③研究方法

目的を達成するため、本研究の研究手法については、筆者は在日中国人のエスニックフード・ビジネスグループを事例として取り上げ、食文化とネットワークを中心に、マルチサイテッド・エスノグラフィーを行う予定である。

主な調査手法は、エスニックフード・ビジネスでの参与観察と調査対象への半構造的なインタビューである。参与観察では、SNS上展開される中華物産店と、店頭を持つ中華物産店の両方をみる。SNS上展開される中華物産店の場合、中国人の好みの果物と中国食材を中心に販売するQ店を参与観察の対象とする。Q店は埼玉県の実家を倉庫として、Wechatでビジネスを展開しており、日本中で1万人以上の中国人が利用する店舗である。実店舗を持つ中華物産店の場合、20年以上経営するY店を対象とする。Y店は関東地方を中心に、7つの物産店を経営している。

また、Q店とY店を利用する人を調査対象に、スノーボールサンプリング法を用いて、調査対象の基礎変量を考慮した上で、留学ルートで来日した中国人ニューカマーに対して、半構造的インタビューを行う。

3.研究経費の使用と成果

この度いただいた研究助成金を活用し、参考資料を購入し、先行研究の執筆を行っている。グローバル・スタディーズ研究科から43,000円の助成金をいただいたが、最終的に37,533円を使用した。参考資料を助成金で購入したが、在庫状況や海外書籍の価格変動などの理由により、最終的に購入した書籍と金額が最初に予定していたものと若干異なっている。

書籍については、先行研究を中心に、エスニック・ビジネス、食文化、在日中国人、ブルデュー理論をめぐり、購入した。研究の基礎とするネットワーク論における理論的な文脈を整理し、エスニック・ビジネスや移民の食に関する先行研究を収集し、読解した。こ

の作業を通して研究で使用する理論的な枠組みを明らかにし、先行研究をまとめてきた。

そして、「エスニック・ビジネスに関する経済・文化的研究の分析—アメリカの先行文献を中心に—」をテーマとする研究ノートを作成した。それを上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科国際関係論専攻が編集・発行する『コスモポリス 17号』に掲載される。

この度、上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科から、2022年度グローバル・スタディーズ研究科研究助成金とご協力をいただき、度厚く御礼申し上げます。